女性防災会
活動報告 13

図書館カウンター前に防災展示♪

～3.11 を思い、しておくべき必要な事～

展示期間：平成３０年３月１日（木）～約１ヶ月間
展示場所：北島町立図書館カウンター前

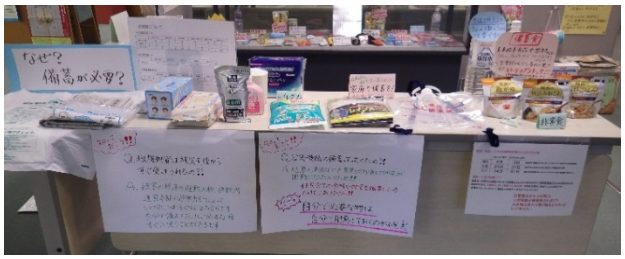
７年目の 3.11 に
私たちは今、何を思う。
北島町立図書館・創世ホールで行われる『3.11 映画祭』に関連して、図書館に防災展示を行いました。

あてにして、なかったときに困るのは私たち。
自分が必要な事や物は自分で用意しておくのが確実！
と、来館者に気づいてもらいたい、
そんな展示を目指しました。

①ハザードマップで津波避難場所をチェック！
「北島町内では大きく長い揺れ＝津波！」と思って、高い場所へすぐに避難。その時に慌てないように事前に避難場所を、家族や隣近所みんなで確認しておく事が必要です。

② 津波避難の時に持って逃げる
避難リュックは準備できていますか？
津波は何度もおそってきます。川に囲まれた北島町は水が引くまでにも長い時間がかかると予想されます。逃げるときに必要な物や、津波避難場所で１日を過ごすための物を、すぐに持ち出せる場所に準備しておく事が必要です。

③ なぜ備蓄するの？



発災後３日間は人命救助が最優先されます。だから救援物資はこの３日間は届かないだろうと思ってください。津波が引いたその後に電気・水道・ガスなどのライフラインが使えなくても命をつなげるように、家庭備蓄が絶対に必要です！普段使いのものを多めに買い置き、消費期限の古いものから使う『ローリングストック法』で家庭備蓄を確保する事が必要です。

④ トイレの事も忘れずに！

災害時のトイレは、身の回りのものと少しのアイデアで準備できます。上下水道が使えない時は、便器にビニール袋を設置して排泄物をゴミとして処理します。便器がなくても代用品をダンボール箱で作ることができます。災害時にトイレに困らないように工夫の仕方を知っておく事が必要です。

⑤ ぼくたちわたしたちの防災コーナー

楽しく防災を体験できる子どもコーナーは、保育士である女性防災会員の手作りです。防災クイズやダンゴムシのポーズを体験し、子ども達が自分でいのちを守れるように導く事が必要です。

図書館からは東日本大震災に関する書籍や資料の展示があります。
絵本・小説・災害時の料理本・ペットの避難方法・地震のメカニズム・防災グッズの選び方など、皆さんの興味を引くものがきっとあるでしょう。

防災展示を見に来てください。
そして、７年目の 3.11 には被災地を思い、
この徳島にもおそってくる災害と向き合ってください。